

第90回 学術講演会

開催方法 会場開催 / Web開催 (リアル配信)

開催日時 令和8年6月11日(木) 午後6時～8時10分

開催会場 ホテルメトロポリタン高崎 6階「丹頂」

肥満症と糖尿病を読み解く －病態の理解から未来の治療へ－

代表世話人・座長

群馬大学大学院医学系研究科
内科学講座内分泌代謝内科学 教授

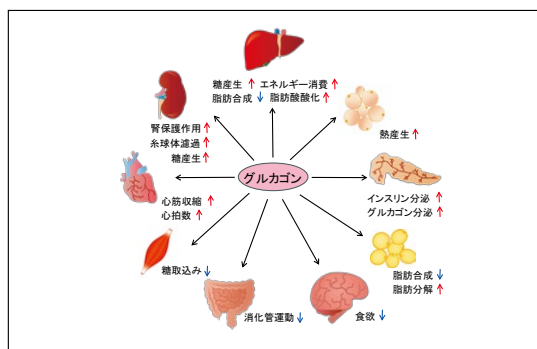
山田 英二郎 先生

講演 I.

「肥満症・糖尿病の病態診断と 治療に向けたグルカゴンの応用」

群馬大学生体調節研究所 教授
生活習慣病解析センター センター長

北村 忠弘 先生

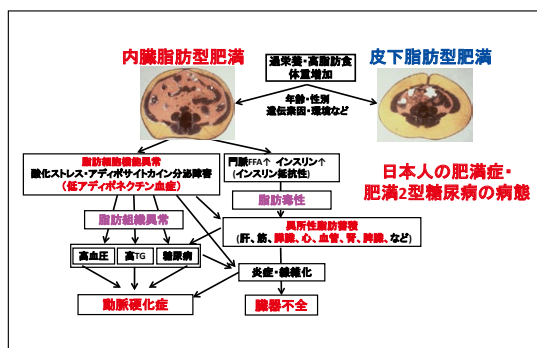


講演 II.

「肥満症・肥満2型糖尿病の病態と 治療学展望」

大阪大学大学院医学系研究科内分泌・代謝内科学 教授

下村 伊一郎 先生



後援 / 群馬県医師会

- この講演会は、日本医師会生涯教育講座2単位が取得できます
カリキュラムコード：(23：体重増加・肥満・1単位)、(76：糖尿病・1単位)
- 群馬地域糖尿病療養指導士 (CDE-Gunma) 認定更新のための研修会 単位取得
- 学術講演会当日に会場でご聴講される医師会員の皆さまは、出席登録・管理を行いますので「医師資格証」または「群馬県医師会会員カード」をご持参ください
- Web視聴での単位付与条件：当日リアル配信中ログイン、ログアウト時間により、講演開始前から終了までの視聴確認出来た方のみに付与させていただきます

講演I：

「肥満症・糖尿病の病態診断と治療に向けたグルカゴンの応用」

群馬大学生体調節研究所 教授
生活習慣病解析センター センター長

北 村 忠 弘 先 生



講演II：

「肥満症・肥満2型糖尿病の病態と治療学展望」

大阪大学大学院 医学系研究科 内分泌・代謝内科学 教授

下 村 伊 一 郎 先 生



プロフィール

1989年 神戸大学医学部卒業
1989年 神戸大学医学部第2内科 研修医
1990年 兵庫県立加古川病院内科 研修医
1992年 神戸大学大学院医学系研究科(内科学)入学
1996年 神戸大学大学院医学系研究科(内科学)卒業
1996年 神戸大学医学部第2内科 リサーチフェロー
1999年 米国立衛生研究所(NIH)日本学術振興会海外特別研究員
2000年 米コロンビア大学糖尿病センター ポスドクフェロー
2005年 米コロンビア大学医学部 Assistant Professor
2006年 群馬大学 生体調節研究所 教授
2009年 群馬大学 代謝シグナル研究展開センター長 兼任
2010年 秋田大学 大学院医学系研究科 客員教授 兼任
2013年 群馬大学 生活習慣病解析センター長 兼任
2014年 神戸大学 大学院医学系研究科 客員教授 兼任

所属学会：

日本糖尿病学会 評議委員
日本内分泌学会 評議委員
日本肥満学会 評議委員、理事
American Diabetes Association
日本内科学会

1989年 大阪大学医学部医学科卒業
1989年 大阪大学第2内科学(垂井清一郎教授)入局
1993年 大阪大学大学院医学博士課程内科学(松澤佑次教授)修了
1993年 市立豊中病院内科医員
1995年 テキサス大学サウスウエスタンメディカルセンター分子遺伝学講座
(Joseph L. Goldstein, Michael S. Brown 教授)研究員
1997年 同講座 Instructor
1999年 同講座 Assistant Professor
2001年 大阪大学大学院医学系研究科 分子制御内科学(第2内科学)
特任研究員
2002年 大阪大学大学院生命機能研究科・医学系研究科 病態医科学
教授
2004年 大阪大学大学院医学系研究科 分子制御内科学(第2内科学)
教授
2005年 大阪大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝内科学 教授

所属学会：

日本肥満学会理事長/常務理事、日本臨床分子医学会理事長、
日本内分泌学会筆頭理事、日本糖尿病学会理事、日本肥満症治療学会
理事、日本内科学会評議員、日本動脈硬化学会評議員、
日本病態栄養学会学術評議員(代議員)、日本抗加齢医学会評議員

肥満症・糖尿病の病態診断と 治療に向けたグルカゴンの応用

群馬大学生体調節研究所 教授
生活習慣病解析センター センター長

北 村 忠 弘

現在の糖尿病の定義は「インスリンの絶対的、あるいは相対的な作用不足から生じる慢性的な高血糖状態」となっており、あたかもインスリンの病気のような印象を受ける。それ故に、糖尿病治療薬の分類もインスリン分泌促進系か非促進系か、あるいはインスリン抵抗性改善作用があるかどうかで分けられている。我々は糖尿病患者の病態をインスリンに加え、グルカゴンの視点も含めて細分化することで、糖尿病患者の個別化医療への応用を目指している。そもそもグルカゴンは長年、正確な測定法がなかったせいで、糖尿病における病態生理的意義は不明なままであった。我々が最近開発した正確なグルカゴンサンドイッチ ELISA を用いると、2型糖尿病患者の病態診断に有益であることが分かってきた。2026年4月より国内の臨床検査（受託測定）に採用されるので、今後のグルカゴン値を用いた病態診断への応用を期待している。

グルカゴンを標的とした肥満症、脂肪肝、2型糖尿病に対する新しい治療戦略にも期待している。我々はグルカゴンを分泌する膵 α 細胞にSGLT1が多く発現していることを発見し、SGLT1の特異的基質であり、

グルコースの非代謝性アナログである α MG がグルカゴン分泌を促進することを確認した。さらに興味深いことに、 α MG を肥満モデルマウスに2週間連日投与すると、摂餌量の減少とエネルギー消費の亢進から体重が15%も減少した。また、脂肪肝の著明な改善、インスリン感受性と耐糖能の改善も認められた。一方、グルカゴン受容体アゴニストの開発も進んでいる。本講演では、第3相臨床試験が進行中のグルカゴン・GLP-1 受容体 dual agonist やグルカゴン・GLP-1・GIP 受容体 triple agonist についても概説したい。

今後、グルカゴンは糖尿病、肥満症、脂肪肝などにおける病態診断と治療の両方に臨床応用される可能性が高く、本会で議論できれば幸いである。

肥満症・肥満 2 型糖尿病の病態と 治療学展望

大阪大学大学院 医学系研究科 内分泌・代謝内科学 教授

下 村 伊 一 郎

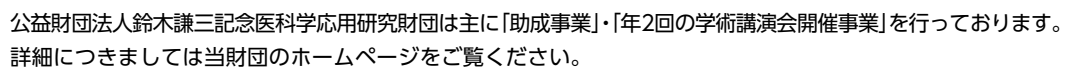
日本人は、欧米人に比し、皮下脂肪への正所性脂肪蓄積能が低く、内臓脂肪蓄積を来しやすい。

蓄積した内臓脂肪は大きく2つの病態を作る。1つは、脂肪組織機能異常である。酸化ストレス・炎症性サイトカイン上昇、アディポネクチン低下といったアディポサイトカイン産生異常が起こり、脂肪組織局所また全身に波及し、インスリン抵抗性・糖尿病、脂質異常症、高血圧、これらが多重リスクとなり動脈硬化症に至る。2つ目は、異所性脂肪蓄積で、蓄積内臓脂肪から遊離脂肪酸が肝臓・全身に流れ込み、慢性的な高インスリン血症と相まって、組織への中性脂肪蓄積が引き起こされ、脂肪肝、脂肪筋、さらに最近、脂肪膵／膵島、脂肪心、脂肪冠動脈、脂肪腎、脂肪脾といった広範な実質臓器／組織への異所性脂肪蓄積病態（脂質蓄積／炎症／線維化・機能低下、等）が明らかとなってきた。

これらの病態に対し、日本人の肥満症・肥満 2 型糖尿病患者がどのような食行動の異常があるのか、またどのような食事に対する嗜好に異常があるのかを、健常者と比較検討している。さらに2万人のスケールで多年齢に

わたる一般住民の中の肥満者がどのような食行動異常また食嗜好異常を持つのかを検討している。これらの検討により、日本人肥満症・肥満 2 型糖尿病患者特有の食行動・食嗜好異常の特質、また日本人肥満者特有の食行動・食嗜好異常の特質が明らかとなりつつある。このような日本人肥満症・肥満 2 型糖尿病の最上流病態を把握したうえで、適切な予防・治療法を追求していくことが重要であると考えている。

本講演では、日本人の肥満症・肥満 2 型糖尿病の病態と予防治療医学展望について述べたい。

[illegible]

5

第90回学術講演会

ご視聴方法

How to watch

ID

mw

パスワード

0611

- ◆インターネットを介して講演が配信されますので、インターネットが使用できるPCまたはスマートフォンをご用意ください。
- ◆携帯電話回線のご使用は電波状況や回線速度などの影響を受け、動画や音声途切れる可能性がありますことを、あらかじめご了承ください。
- ◆長時間のご視聴はブラウザの負荷により映像と音声にずれが生じる可能性があります。違和感を感じた場合は画面更新、または開き直しをお試しください。

01

視聴ページへのアクセス

ブラウザを起動し画面上部のアドレスバーにURLを入力してください。

右の画像からもアクセスしていただけます。

※GoogleやYahoo!の検索欄からは視聴ページは表示されませんのでご注意ください。



https://gjm.pw/mw0611

※ジー ジェイ エム（ジェイとアイの入力間違いにご注意ください。）

02

本番視聴について

※当日は実際のページと異なる場合がございますのでご了承ください。

「ライブ配信」欄にあるボタンは、本番1時間前から有効になります。

- ①ボタンが有効になりましたら、「視聴する」のボタンを押してください。
※6月11日 17:00を予定しております



- ②ログイン画面に切り替わりましたらIDとパスワードを入力してください。

- ③参加登録画面で必要事項を入力し、「登録」ボタンを押すと視聴画面に切り替わります。



※事前にテスト動画の確認をされる際は上部メニューの「視聴環境の確認」を押してください。

▼視聴推奨環境

WEB講演会をご視聴いただくために、必要な動作環境がございます。
事前テスト配信がうまく確認できない場合は、動作環境をご確認ください。

<https://gjm.pw/env>



事前視聴確認や当日の視聴に関して、技術的なトラブルやご不明な点などがございましたら、こちらまでご連絡ください。



木村情報技術株式会社
サポート窓口



0952-97-9167



<https://gjm.pw/form>

平日9:00~18:00（土・日・祝日を除く）※本番当日は講演終了までサポートします